様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成30年　6月　21日

愛 知 県 知 事　殿

提出者
住　所　　愛知県小牧市東三丁目1番地
氏　名　　住友理工株式会社
小牧製作所長　田中　睦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　0568－77－2049　（安全環境課）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友理工株式会社　小牧製作所
事業場の所在地	愛知県小牧市東三丁目1番地
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	19：ゴム製品製造業（自動車用防振ゴム　ホース　）
②事業の規模	168,875百万円/年
③従業員数	2,887名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料（2-8-A）　参照

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

社長―ＣＳＲ委員会―環境委員会

|

全社環境会議―事務局：環境管理部

|

小牧製作所　所長

|

安全環境課

|

住理工ｸﾘｴｲﾂ ECO

（製作所内廃棄物処理業務）

産業廃棄物管理責任者

特別管理産業廃棄物管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（平成29年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ﾌﾟﾗ	木屑	金属屑	ｶﾞﾗｽ屑
排　　出　　量	379t	481t	1634t	146t	144t	7t

（これまでに実施した取組）

・部署ごとに平成27年度実績原単位の2%削減を目標に
　削減ﾃｰﾏｱｯﾌﾟを行い、削減活動を実施。（不良ﾛｽ低減、歩留ｱｯﾌﾟ）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ﾌﾟﾗ	木屑	金属屑	ｶﾞﾗｽ屑
排　　出　　量	333t	471t	1576t	140t	140t	6t

（今後実施する予定の取組）

・部署ごとに平成27年度実績原単位を基準に3%削減を目標に
　削減ﾃｰﾏｱｯﾌﾟを行い、削減活動を実施。（不良ﾛｽ低減、歩留ｱｯﾌﾟ）

・中長期的に造り方改善ﾃｰﾏを抽出し、ﾛｽ低減活動に結びつける。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・汚泥、廃油、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、木くず、鉄くず類、非鉄くず類
　蛍光灯類　等有価物も含め（60～70種類に）分別　実施。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・現状の継続実施

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成29年度）実績】特になし</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】特になし</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成29年度）実績】　特になし</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】　　特になし</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特になし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】特になし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】特になし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（平成29年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ﾌﾟﾗ	木屑	金属屑	ｶﾞﾗｽ屑
	全処理委託量	379t	481t	1634t	146t	144t	7t
	優良認定処理業者への処理委託量	124t	475t	582t	0t	0.4t	0t
	再生利用業者への処理委託量	369t	448t	873t	145t	144t	7t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	5.5t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5t	13t	63t	0t	0.4t	0t
	（これまでに実施した取組） ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い最終処分量低減を図る。						

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="7">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td><td>廃ﾌﾟﾗ</td><td>木屑</td><td>金属屑</td><td>ｶﾞﾗｽ屑</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>333t</td><td>471t</td><td>1576t</td><td>140t</td><td>140t</td><td>6t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>119t</td><td>466t</td><td>814t</td><td>0t</td><td>0.3t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>332t</td><td>440t</td><td>969t</td><td>140t</td><td>140t</td><td>6t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>0t</td><td>5t</td><td>0t</td><td>0t</td><td>0t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>0.5t</td><td>11t</td><td>55t</td><td>0t</td><td>0.3t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td colspan="8">（今後実施する予定の取組）
・部署ごとに平成27年度実績原単位を基準に3%削減を目標に
削減ﾃｰﾏｱｯﾌﾟを行い、削減活動を実施。（不良ﾛｽ低減、歩留ｱｯﾌﾟ）
・中長期的に造り方改善ﾃｰﾏを抽出し、ﾛｽ低減活動に結びつける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="6"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

添付資料　2-8-A

平成29年度（2017年度）産業廃棄物実績（小牧製作所）と一連の処理工程

	NO	廃棄物名称	廃棄物コード	平成29年減量当初計画	平成29年度　廃棄物発生量（ton/年）	平成30年減量当初計画	委託処理	再資源化	備考
県	1	汚泥（無機混合）	02	180.0	230.7	205.0	造粒固化	再生土資源化	
	2,3	汚泥（無機混合）（シリカ・防着剤）	02	20.0	19.975	19.0	混練	他材料と混練後　セメント原料	
	4,5,6	汚泥（無機混合 ｱﾙｶﾘｽﾗｼﾞ汚泥）	02	80.0	119.2	100.0	改質分級	他材料と混練後　セメント原料	
	7	汚泥（有機・無機混合 汚泥）	02	7.0	6.4	6.0	脱水・中和	―	
	8	汚泥(ホーニング粉)	02	4.0	2.5	2.0	直接埋立	―	
	49,50	汚泥（研究試薬）	02	0.0	0.5	0.5	焼却	―	
		汚泥　小計		291.1	379.251	332.5			
報	9	廃油（液状ゴム・ｲｿｼｱﾈｰﾄ）	03	1.0	3.3	3.0	焼却	―	
	10	廃油（封入液）	03	210.0	216.3	210.0	混合ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ化	燃料化	
	11	廃油（塗装駅）	03		5.5	5.0	焼却		
	12	廃油（ｱﾙｶﾘ・化成皮膜ｽﾗｼﾞ・ｲｿｼｱﾈｰﾄ）	05	10.0	8.8	8.0	焼却・中和	―	
	13	廃油（ｱﾙｶﾘ・化成皮膜ｽﾗｼﾞ）	05	240.0	231.2	230.0	油水分離・中和	―	
	15	廃油(ﾒｯｷ液Ni)	04		15.3	15.0	中和・凝集沈殿	溶融ﾘｻｲｸﾙ	
	16	廃油　（廃液）	03		0.018	0.0	焼却		
	51,52	廃油(研究試薬)	03	0.0	0.694	0.0	焼却	―	
	53,54	廃酸(研究試薬)	04	0.0	0.063	0.0	焼却	―	
	55,56	廃アルカリ(研究試薬)	05	0.0	0.094	0.0	焼却	―	
		廃油　小計		461.1	481.298	471.0			
告	17	廃プラ（不燃・雑芥）	06	5.0	3.8	3.0	直接埋立	―	
	18,19,33	廃プラ（塗料かす）	06	38.0	63.0	55.0	焼却	―	
	20,21	廃プラ（RPF材料）	06	128.0	115.1	105.0	破砕・圧縮	RPF燃料化	燃料
	22	廃プラ（RPF材料）	06	245.0	136.2	130.0	破砕・圧縮	RPF燃料化	↑
	23	廃プラ（RPF材料）	06	110.0	246.9	240.0	破砕・圧縮	RPF燃料化	↑
	24,25,27	廃プラ（RPF 複合材料）	06	770.0	930.9	920.0	破砕・圧縮	RPF燃料化	↑
	26	廃プラ(免震ゴム)	06	10.0	8.6	8.0	破砕・切断		
用	28	廃プラ(パソコン・事務机等)	06	7.0	1.7	1.0	破砕・減容固化	RPF燃料化	燃料
	29	廃プラ（カーボン汚泥・シリコン）	06	25.0	67.1	60.0	混練	他材料と混練後　セメント原料	燃料
	30	廃プラ(RPF・雑芥・机)	06	25.0	55.5	50.0	破砕・選別・圧縮	―	
	31	廃プラ(DIP残糸)	06	3.0	4.0	3.0	収集のみ	―	
	32	廃プラ(地下水対策)	06	0.2	0.7	0.7	破砕	―	
		廃プラ　小計		2,121.2	2,360.822	2,295.7			
	34,35	木屑（廃パレット・梱包材）	08	120.0	145.6	140.0	破砕	燃料化	燃料
	36	鉄屑（ｸﾞﾘｯﾄﾞ）	12	130.0	143.9	140.0	混練	樹脂と混練後電炉へ原料化	鉄
	37	金属くず(乾電池)	12	0.2	0.4	0.3	焼却・ばい焼	再資源化	
		金属くず　小計		130.2	144.290	140.3			
	38	ガラス・陶磁器くず	13	1.0	5.6	5.0			
	39	蛍光灯	13	1.0	1.0	0.5	破砕	再資源化	
		ガラス・陶磁器くず　小計		2.0	6.545	5.5			
	14	社内廃液移送		0.0	0.0	0.0	（社内）排水処理場への移送		
		計		3,125.6	3,517.786	3,385.0			